

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	株式会社トラスト			
所在地	東京都江戸川区小松川四丁目13番5号			
業種	医療・福祉			
常用労働者数	14人			
事業内容	介護保険法に基づく居宅サービス事業、居宅介護支援事業、地域密着型サービス事業、他			
ホームページ	https://www.trust2016.co.jp/			
1 ニーズ調査				
①実施日	令和4年8月4日			
②方法	調査票を都内に勤務する全従業員に配布（手渡し、メール送信等）			
③回収率	対象者（都内全従業員）13名のうち回収数 11名 回収率 85%（回収数/対象者）			
④調査結果概要	<p>（調査により明らかになった課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について 介護を経験した事がある従業員は18%（2名）で、介護の経験がない従業員は82%（9名）であった。介護の経験がある従業員の内、現在も介護が継続している従業員は0であった。 ・今後の従業員の介護見込みについて 今後の介護の見込みとして「可能性がある」と回答した従業員は90%で、想定される担い手としては「自身」という回答が50%あった。 ・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 社内における介護関連の支援制度等についての認知度は、「どのような」制度があるかは知っており、内容もおおよそわかる」18%である一方、「制度があるかどうか知らない」が82%という回答状況である。 ・介護と仕事の両立に関する不安について 今後介護の可能性がある従業員は全員が介護への不安を感じており、介護をしながら現在の仕事を続けることが出来るかどうかについては、「続けられると思う」10%、「続けられないと思う」40%、「わからない」50%という回答であった。 ・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 介護が生じたときの望ましい働き方としては「介護休業や介護のための短時間勤務などの支援制度を利用しつつ、出来るだけ普通に働き続けながら、介護と仕事を両立する」55%、「介護が必要な時期は休業制度を利用して自分が介護をして、その後仕事に復帰する」27%であるが、一方で「仕事を辞めて介護に専念する」「仕事の仕方を変えない」という回答もあった。 			
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況				
①設置日	令和4年8月26日			
②メンバー	総計 2名（うち都内勤務の従業員 1名） （メンバー内訳）役員1名、従業員1名			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	8月26日	10:30~11:00	活動内容及びスケジュールの確認	2名
	8月29日	13:30~14:00	調査結果概要説明、目標案の掲示	2名
	8月31日	14:30~15:00	目標についての意見交換、目標確定	2名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				
令和4年 9月～ 介護休業制度の利用希望状況などについて定期的に調査を行う。				
令和4年10月～ 介護支援制度、休業制度についての研修を通じて、制度の社内周知を図る。				